



平成30年5月7日

各位

上場会社名 ソマール株式会社
 代表者 代表取締役社長 曾谷 太
 (コード番号 8152)
 問合せ先責任者 IRC部長補佐 近澤 美弘
 (TEL 03-3542-2160)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年11月6日に公表した業績予想、及び平成29年5月15日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,900	760	770	700	360.40
今回修正予想(B)	22,514	1,027	1,005	911	469.57
増減額(B-A)	1,614	267	235	211	
増減率(%)	7.7	35.2	30.5	30.3	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	20,941	580	591	511	263.35

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,300	480	430	221.39
今回修正予想(B)	20,934	660	608	313.20
増減額(B-A)	1,634	180	178	
増減率(%)	8.5	37.7	41.4	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	19,634	328	264	135.94

平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、1株当たり当期純利益につきましては、前年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

修正の理由

スマートフォンや自動車部品の業界など、上半期に好調を呈した当社グループの主要な関係業界の景況につき、前回の予想では、下半期においては減速して当社グループの業績を大きく下押しするものと予想しましたが、かかる関係業界の景況が下半期においても予想したほどには落ち込むことなく総じて堅調に推移したことや、更には、新たな顧客開拓による拡販なども加わって、特長あるコーティング製品や高機能樹脂製品などの販売が下半期においても引き続き好調に推移しました。

これに加えて、とりわけ、タイの子会社においては、電気・電子部品用の高機能樹脂製品を中心に販売が予想以上に伸びて連結業績を上押ししました。

その結果、かかる自社製品群の好調な販売が連結及び個別の売上高並びに営業利益等の各段階の利益を牽引し、前回の予想を上回る見通しとなりました。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成29年5月15日発表)	—	—	—	30.00	30.00
今回修正予想	—	—	—	50.00	50.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成29年3月期)	—	—	—	3.00	3.00

平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前回予想及び今回修正予想の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計額につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけ、継続的な安定配当を目指すとともに、1株当たりの配当金が継続的に増加するよう努めることを基本方針としております。

平成30年3月期の期末配当金につきましては、前回の予想として、1株当たり30円を予想しておりましたが、上記の業績予想の修正に記載しました通り、利益が前回予想を大きく上回る見込みとなりましたことを踏まえ、今後の事業展開等も総合的に勘案し、期末の配当予想を1株当たり20円増額して50円に修正いたしました。

以 上